

【一般会計決算状況】

区分	令和元年度	平成 30 年度	差引額	増減率
歳入（収入）総額	70 億 616 万円	65 億 1,284 万円	4 億 9,332 万円	7.6%
歳出（支出）総額	67 億 7,473 万円	63 億 796 万円	4 億 6,677 万円	7.4%
歳入歳出差引額 ①	2 億 3,143 万円	2 億 488 万円	2,655 万円	13%
翌年度への繰越財源 ②	1 億 2,490 万円	2 億 108 万円	▲7,618 万円	▲37.9%
実質収支 ①－②	1 億 653 万円	380 万円	1 億 273 万円	270.3%

【特別会計決算状況】

（水道・病院は収益的収支を記載）

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険	18 億 9,198 万円	18 億 6,501 万円	2,697 万円
学校給食	5,190 万円	5,187 万円	3 万円
農業集落排水	2,617 万円	2,617 万円	0 万円
介護保険	16 億 7,563 万円	16 億 681 万円	6,882 万円
後期高齢者医療	2 億 3,977 万円	2 億 3,534 万円	443 万円
水道	1 億 8,321 万円	1 億 6,136 万円	2,185 万円
病院	17 億 5,758 万円	17 億 3,514 万円	2,244 万円

◆健全な財政状況

実質収支は黒字であり、健全化判断比率は全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準（早期健全化基準、経営健全化基準）を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持していると言えます。また、実質公債費比率について、この比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになりますが、右下のグラフに示すように 10 年間で 16.4% から 3.9% と大きく改善しています。

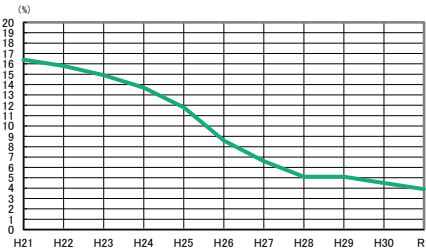
また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、家計における貯金に当たります。佐川町では、1 人当たりの貯金は約 36 万円（一般会計）です。健全な財政運営を行っていくため、今後も適正な基金の額を維持していくことが求められます。

財政健全化判断比率

危険信号

指標	内容	佐川町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	3.9%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%

実質公債費比率の推移 (H21-R1)



【基金（貯金）残高】

会計名	令和元年度	平成 30 年度	差引額	増減率
一般会計	45 億 4,206 万円	46 億 1,474 万円	▲7,268 万円	▲1.6%
（うち ふるさと納税寄附金基金）	2 億 1,321 万円	1 億 8,183 万円	3,138 万円	17.3%
国民健康保険事業特別会計	6,664 万円	6,538 万円	126 万円	1.9%
農業集落排水事業特別会計	5,791 万円	5,881 万円	▲90 万円	▲1.5%
介護保険事業特別会計	1 億 8,597 万円	1 億 4,327 万円	4,270 万円	29.8%

※引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費については、佐川町役場ホームページにて公表しています。

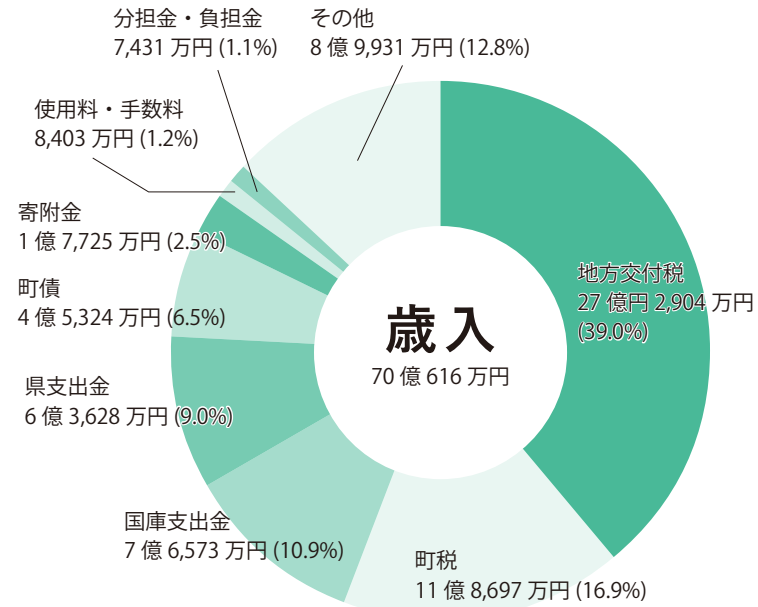
“第 5 次総合計画にもとづくまちづくり（アクションプラン）を確実に前に進めていくために、主体的に「まじめに、おもしろく。」考え、実行し、笑顔あふれる元気でしあわせなまちをみんなで創る！”を令和元年度の佐川町経営方針に掲げ、財政運営を行いました。

＼歳入のポイント／

国や県の交付金・補助金を活用した町道施設整備や農林業振興事業の増加、小中学校への空調整備事業の実施により、国庫支出金・県支出金が増加しました。また、ふるさと寄附が平成 30 年度より約 1 億 700 万円増加しました。

用語の解説

- ・地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- ・町税…町民税・固定資産税
- ・国庫支出金…国からの交付金・補助金
- ・県支出金…県からの交付金・補助金
- ・町債…長期借入金
- ・使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- ・分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- ・その他…地方譲与税・諸収入等

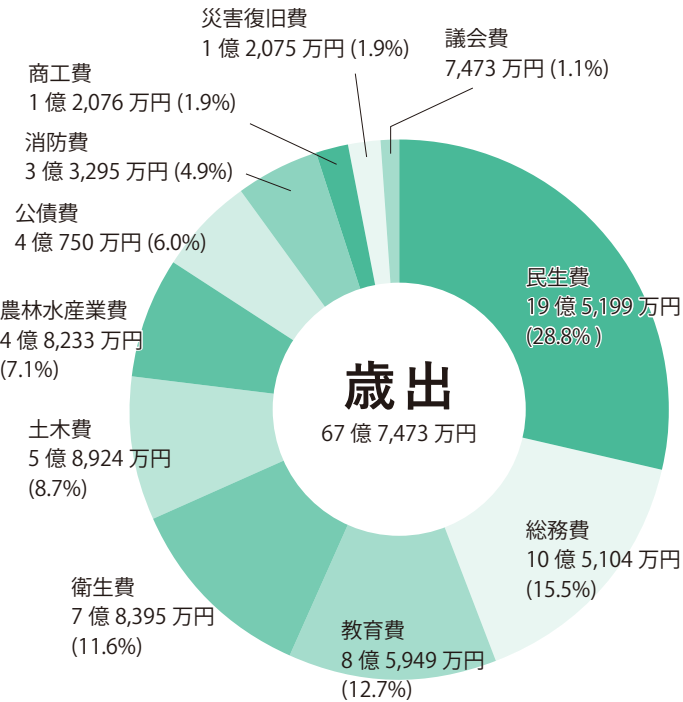


用語の解説

- ・民生費…高齢者福祉・保育所
- ・総務費…財産管理・選挙
- ・教育費…小中学校・文化施設
- ・衛生費…予防接種・ごみ処理
- ・土木費…道路・住宅の維持改良
- ・農林水産業費…農林業振興・施設整備
- ・公債費…借入金の返済
- ・消防費…防災対策・消防活動
- ・商工費…観光・商工振興
- ・災害復旧費…農林・公共施設災害
- ・議会費…議員報酬・議会運営

＼歳出のポイント／

ふるさと寄附のお礼品にかかる費用やふるさと寄附基金積立金の増加により総務費、町道改良工事などの道路施設整備費の増加により土木費、中山間地域所得向上支援事業やストックマネジメント対策工事などの農業費の増加により農林水産業費が増加しました。



◆ふるさと寄附（納税）の活用状況についてのご報告

ふるさと寄附は、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町の PR や自主財源確保につなげています。その結果、多くの佐川町ファンの方に応援をいただいています。また、地域おこし協力隊の精力的な活動もあり、令和元年度の寄附受入額は前年度比 158%となりました。全国の方の目に触れる機会が増加し、町の PR を図ることができました。なお、全国から集まった寄附金は、よりよいまちづくりのために、以下の事業に活用しました。

令和元年度の寄附金総額
1 億 7,689 万 2,460 円

令和元年度の寄附金件数
8,202 件

医療・福祉・子育ての充実に
3,501 万円
集落活動センターの運営管理費 / 公民館の改修、備品類の購入費補助（26 の自治会に補助金を交付） / 中学 3 年生までの医療費助成

教育・文化・スポーツの振興に
610 万円
佐川町民プールの設備の修繕、事務所屋根防水修繕工事、換気扇制御盤工事 / ナウマングラウンド武道場の屋根の劣化部分の改修工事

産業・観光の振興に
3,774 万円
JR 客車収容施設設計委託 / 「さかわ森林資源フル活用センター（仮称）」計画の策定 / 体験観光イベント「わんさかわっしょい体験博」の開催 / 地場産センターのトイレ整備工事 / 豊かな森林を整備していくための間伐や作業路の開設費補助

交通安全・防犯・防災・減災の
281 万円
推進に関する事業
尾川小学校、黒岩小学校、加茂小中学校、佐川中学校に見守り用カメラの設置

“まちまるごと植物園” への活用
現在、佐川町では、個人のお庭や地域の花壇、貴重な山野草の自生地など町全体を植物園に見立て、植物を通じて人々がつながりあう“まちまるごと植物園”の取り組みを進めています。「植物のまち」として、さらに取り組みを展開していくために、寄附金のうち 100 円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただきます。



令和元年度人気のお礼品 申込件数ランキング	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
					
	『工房ナチュール』の天然酵母 ベーグルセット 13 個【1,504 件】	麦藁焼 特選鯉の たたき 1 ～ 3 節 (600 ～ 700g) 薬 味・たれ付【513 件】	フルーツマト 約 1.6 kg (20-36 玉) 【473 件】	高知から産直！ 旬の季節のお野 菜 定期便 (8 ～ 10 品)【452 件】	吉本牛乳 (さかわ地乳) 1L×10 本セット 【387 件】

移住促進事業
1,046 万円
移住相談窓口として移住相談員を設置し、地域おこし協力隊の募集に合わせて移住フェアや移住体験ツアーを実施しました。佐川町の強みを伝え、移住につながるよう仕事や住環境などの支援を行い、20 名が移住しました。

佐川町新規就農研修支援事業
1,481 万円
新規就農者の経営安定を図り就農定着につなげるため、次世代を担う新規就農者や農業研修生などへの支援を行っています。農業次世代人材投資事業補助金を 10 名に、担い手支援事業補助金を 1 名に交付しました。

ふるさと教育推進事業
(地域ぐるみふるさと教育推進事業)
1,589 万円
検討委員会の開催やふるさと教育に係る調査、未来映像力を育む教育にかかる調査、食レシビ・町内の祭りの映像化をしました。児童・生徒用ふるさと教育プログラム、副読本等の教材、町民啓発（シティプロモーション）用 PR コンテンツとして利用しています。

小学校教育振興総務費、中学校教育振興総務費（ICT 活用推進事業）
3,515 万円
タブレット端末を購入し、小中学校の ICT 環境の整備を行いました。プログラミング教育等を行うことで、「Society5.0」に必要な情報活用能力を身につけることができます。また、タブレットの導入により、遠隔で職員研修を実施するなど、結果として、新型コロナウイルス感染症防止のための環境整備につながっています。

令和元年度の
主な事業

町道舗装補修事業・地方道路交付金事業
4 億 2,699 万円
町道や橋梁、トンネルといった道路施設では、老朽化に関する問題が数多く発生しています。これらの補修・修繕を計画的に行うことで住民の通行の安全を維持しています。

地域公共交通事業
4,605 万円
住民の移動手段を確保するため「さかわぐるぐるバス」や路線代替バスを運行しています。さかわぐるぐるバスの 1 便当たりの乗車人数は、2.47 人となっており、乗車率は年々上昇しています。



ものづくり推進事業
615 万円
さかわ発明ラボで実施している「放課後発明クラブ」をリニューアルし、年間の参加者数は延べ 949 人でした。その結果、より多くの町内の小中学生たちがものづくりの魅力や共につくる楽しさを体験することができています。

